街かど

投稿

人工肛門、人工膀胱を持つ人へ

●「街かど」は皆さんのページです。皆さんからの投稿は必ず掲載します。●スペースの都合で一部省略する場合があります。●募集するものは町に対する意見、要望や、短歌、俳句、川柳、詩、絵画、イラスト、写真などの作品、その他です。●文字を書くのはどうも苦手、というかたは電話してください。取材に伺います。●氏名などを公表したくないかたは匿名にしますが、編集部へは氏名、住所を知らせてください。●投稿・連絡先　黒埼町大野二八四三―一　黒埼町役場企画課広報くろさき「街かど」係　☎七―三一〇一

ご承知のとおり十月一日から身体障害者福祉法が改正になり、人工肛門、人工膀胱を持つわたしたちも身障法の適用を受けられることになりました。まことに朗報と思います。

これを機会に先日わたしたち同憂の有志が集まり、どういう手続きで障害者手帳が受けられるのか、適用資格の病状はどの程度かなどを役場住民福祉課の係員を招いて勉強しました。障害者手帳申請用紙も三、四人に渡りました。

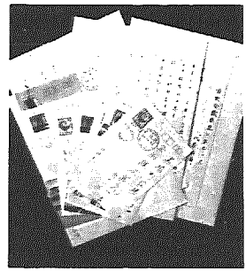
こうしていつもわたしたちが日常生活を明るく不安なく過ごせるように苦労しているわけですが、障害者でありながら障害者としての待遇を得ることができない人も多いのです。病状が障害者手帳の適用に合わないためです。

矛盾した話です。そこで、適用外の人に何か救済の方法をと、現在東京都や県下四市町村で実施されている、「特殊障害者器具装着費用助成条例」をわが黒埼町でも施行していただきたいと思い運動を始めました。

この条例が施行されればいくらかでも器具購入費用が助かり、経済的負担を減らせるのです。ぜひ施行されるようお願いしたいのです。

どうか同憂の皆さん集まって協力しませんか。病気の苦労話を語り合いませんか。みんなの力で費用助成条例の実施を促進していきませんか。連絡をお待ちしています。

大野七区　☎7―2237　池田まで。



大野　池田　勇

今月は投稿がたくさんあり、一部は次号で紹介させていただきます。俳句、短歌は一人一句、一首でお願いします。大谷さんの黒埼市民会議ですが、広報でも何回か取上げてきました。全国的に町づくりが叫ばれています。民間の側から始まってこそ町づくりができるのではないでしょうか。皆さんも興味があればぜひ大谷さん（☎7―3299）へご連絡を。

短歌　　短歌会

豪雨中出荷の番待つ農夫らは米かばいつついらだちており　　阿部　淨子

せせらぎに心やすまる裏五頭山紅き一葉のわが膝に落つ　　宮田　ミイ

少年より広大宇宙に心ひかる喜寿すぎし今ますます深し　　柏　直樹地

野分あと庭の小菊はうつむきて地に低くして白く咲きおり　　金内　セツ

紅葉の只見川辺は水清く朝の日照りて木々陰おとす　　小出美喜子

早朝の広き干し場は人もなくうすもやの中ビルの文字赤し　　泉井　ヨ子

舞い落ちる木の葉ひらひら輝きて散りしく中に落着きにけり　　酒井　庄平

吹きあれし風の止みたる庭の朝植木は如何にと心騒ぎぬ　　池田　勇

時雨夜の部屋の灯温くもりて久しく持たぬ針で縫えいく　　河津

闇背負い窓にはりつく大き蛾のたたけど動かずあかり消したり　　宇女

俳句　　黒埼俳句の会

肘薄くなりたる野良着冬仕度　　白川　代香

そっと手で薄き皮むく熟柿かな　　斎藤　美芳

投稿

二十一世紀を考える黒埼市民会議

市民会議代表幹事　木場　大谷　一男

黒埼青年会議所が提唱し、設立を呼びかけていた黒埼市民会議推進協議会（略称、黒埼市民会議）が十月十六日に発足いたしました。

当日は、来賓として浅妻町長をはじめ青年会議所役員からご出席いただき、委員の発表、会則審議、役員の承認をすませました。

この後、社団法人日本青年会議所地域行革特別委員長の斉藤隆景さん（斉藤記念病院脳血管センター病院）から記念講演がありました。ここに講演の要旨を紹介します―。

市民会議の主要なテーマとして、人間の主要なテーマとして、人間性豊かな社会、明るい豊かな社会をどう建設し発展させていけばよいのでしょうか。方法はどうあるべきでしょうか。

市民のニーズを的確に先取りするためには「CDサイクル」の導入が不可欠です。

Cとはコミュニティー、DとはディベロプメントCで、調査→分析→企画→行動→評価を一サイクルとして再び調査に戻る手法をCDサイクルといいます。

市民会議でもっとも大切なことは構想性（ヴィジョン）です。講想性には両極に分かれた二大方向があります。一つは「スモール・イズ・ビューティフル（小さいものは美しい）」、もう一つが「ビッグ・トウモロー（大きな未来）」です。

前者の代表で黒埼町に似た町として、福岡市の隣町の久山町があります。

久山町は福岡市の郊外でありながら、町の施策として都市開発を進行させません。町長は「教育は体験させることであり、子供は親が育てるものである」と言い、町に保育所が一つもありません。小学校も木造です。

そのかわり自然がたくさん残り、町の川はホタルの名所になりました。敬老会の旅行ではジャンボジェットを貸し切り、東京の帝国ホテルに泊まります。開発や建物に金をかけない小さな町づくりの典型です。

後者の代表は十勝ワインで有名な北海道の池田町です。

昭和三十年代池田町には何もありませんでした。その何もない地にぶどうを植え、町営ワイン工場を建て全国的に十勝のワインを売り出しました。

さらに、牧場を始め牛肉とワインを売物に町営レストランを地元だけでなく札幌や東京の新宿、赤坂などに持つまでになりました。現在では町民の三分の二がこれらの施設に働いています。

構想性をもみにもんで二十一世紀の青図を作ります。二十一世紀は手の届く未来です。今、国土庁は二千二十五年のプログラムを考えているぐらいです。

構想性を考えるうえで問題となるのは住民意識です。今の住民は都市型と村型にはっきり区別され混合社会を作っています。しかし、生活様式も考え方も違いお互いに相いれません。

市民会議の条件として、まず参加すること、そして義務を果たすこと、職務を分担することの「参加、義務、分担」が心須です。

さらに委員はボランティアでなければなりません。ボランティアは公共性、自主性、無償性が原則です。信頼関係を深めがんばってください。

以上が講演の内容でしたが、市民会議の前途に一つの光明がさされた思いでした。

黒埼市民会議推進協議会は長い長いトンネルを抜けて誕生いたしました。今後も試行錯誤を繰り返していく中で、ほんとうのものが磨かれると考えます。

委員が一丸となって「あせらず」「くさらず」「あきらめず」がんばっていきます。

鳥原　白井　雅人

寄稿

青年リーダー養成海外研修に参加して

県が主催している青年リーダー養成海外研修に本町の白川雅人さん（二十四歳、農業）が参加し、十月十五日から二十六日までフィリピン、インドネシアを視察されました。今号と来号で見聞記を掲載します。

飛行機に乗ること四時間。夢にまで見た外国、記念すべき第一歩をフィリピンのマニラで踏んだ。その瞬間、暑さと臭気に襲われた。

この暑さはなんなんだ。とても上着、ネクタイなどしていられない。体を動かさなくても汗が出てくる。

見る顔はわたしたちと少し違う。少し黒く言葉は全くわからない。あ～早くも笑顔が消えかかっていた。

インドネシアでの交流会

第一日目の研修が始まったが、英語がよくわからない。大体、フィリピンの青年の就職状況であったらしい。職がなくしかたなく農業をしている人も多いそうだ。

夜は交歓会だった。ここでもイングリッシュが必要なのだ。最初は言葉が出ず汗ばかり出ていた。アルコールが入ると、ようやく笑顔が作れた。言葉のギャップが次第に消えていった。

思わず手が動き言葉も雰囲気でわかった。名刺の交換や写真を取ったりした。手紙を送ろう必らず…。そのときだけの付き合いではうまくないのだ。

あっという間にフィリピンの研修を終えてしまった。ここでホテルを出るときに、物売りに前日明日買うからと約束しておきながら知らない顔をした。その物売りの顔、わたしは今でも悪かったと思っている。金の問題ではない。ほんとうにすまなかった。

マニラを後にインドネシアへ向かった。フィリピンより遅れているのではないかと思いつつジャカルタに着いた。

ジャカルタは考えていたよりずっとすばらしい所だった。町並みが整っている。道路、ビル、外燈などは日本とそれほど変わらない。自分の知識のなさが恥ずかしかった。

早速ホームスティ（現地の人の家に宿泊すること）の予定だったが、連絡の不手際で変更になった。

班別で自由行動。とても有意義だった。海へ行き潮風をあびたらふるさと新潟を思い出してしまった。早く帰りたいと少し思った。

昼食はそこで取った。メニューを見ても全くわからず困った。後ろの人にジェスチャーで聞いたら親切に教えてくれた。人の心はやさしい。

老人の唄（傘寿記念）

中学通り　酒井　柳雨

庭紅葉四十路で逝きし姪の墓　　長谷川一定

末枯れの小道小犬の走り去る　　驚尾　サヨ

秋深むここにも碑あり鏡橋　　早川　ウメ

孫を呼ぶいとまもなくて初あられ　　浅間　シゲ

露天風呂紅葉浮くなり浸るなり　　木下　富代

実も熟れて秋の日まぶし柿紅葉　　那須野惣一

あぜ道のススキも枯れて冬近し　　中村　和雄

よき昔残す庄屋の庭の萩　　河津

山寺の水児地蔵に秋入日　　佐藤　キン

子供等に梨をのせたる置手紙　　佐々木真琴

雀の声に夜が明けた
軽い手足ださあ歩こう
ゲートボールを打つもよい
空は青いよ赤い柿
五穀豊じょう倉の中
急がず　休まずそれ歩こう

朝だ夜明けだ目が覚めた
今日も私は生きている
起きて歩こう町めぐり
腹が空いたか胃が動く
アツアツラーメン食うもよい
急がず　休まずそれ歩こう

ぽんぽん太鼓の音がする
お経だ踊りだ唄の声
夜も日も一緒だ笑い声
闇の世界は静寂だ
神も仏も眠ります
急がず　休まずそれ歩こう

暗い夜がくりゃ眠くなる
足を伸ばせば高いびき
天地自然は夢のなか
世界の果てまで飛んでいる
極楽浄土の座が見えた
急がず　休まずそれ歩こう